

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて

《H27. 10. 27 総合教育会議において出された意見等》

- 東京 2020 オリンピックに向けた競技人口の拡大を図る
- オリンピックに出場するような子どもたちを育てる
- スケートボードがオリンピック種目に選定された。それらも踏まえ地域の特色を活かした振興のあり方を考え、取り組みを進める必要がある

東京 2020 オリンピック・パラリンピックへの村上市の取り組み

(1) 村上市スケートパークの整備…スケートボードの聖地へ

- ①スケートボード競技におけるトップアスリートの育成・強化とジュニア選手の発掘・育成
- ②オリンピックに向けた合宿等の誘致
- ③ジュニアスクールの開設、大会の開催

(2) 東京 2020 オリンピック聖火リレー…新潟県のゴールを村上で盛り上げ 〔令和2年6月6日(土)〕

- ①村上市スケートパーク～岩船港港湾緑地までの2,770mを14人でリレー
- ②岩船港港湾緑地で選手のゴールを祝う「セレブレーション」を実施
- ③沿道ではランナーを応援するさまざまな催しを計画

(3) 東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル…共生社会の火をつなぐ 〔令和2年8月15日(土)～17日(月)〕

- ①採火…パラリンピックの聖火となる火を村上市でもおこす(8/15)
- ②聖火ビジット…採火した火をランタンに入れ各地区に展示(8/15～8/17)
- ③集火・出立…県内各市町村で採火した火を集火(集め)、「東京2020パラリンピック聖火(新潟県)」として、開催都市東京へ出立(送り出す)